

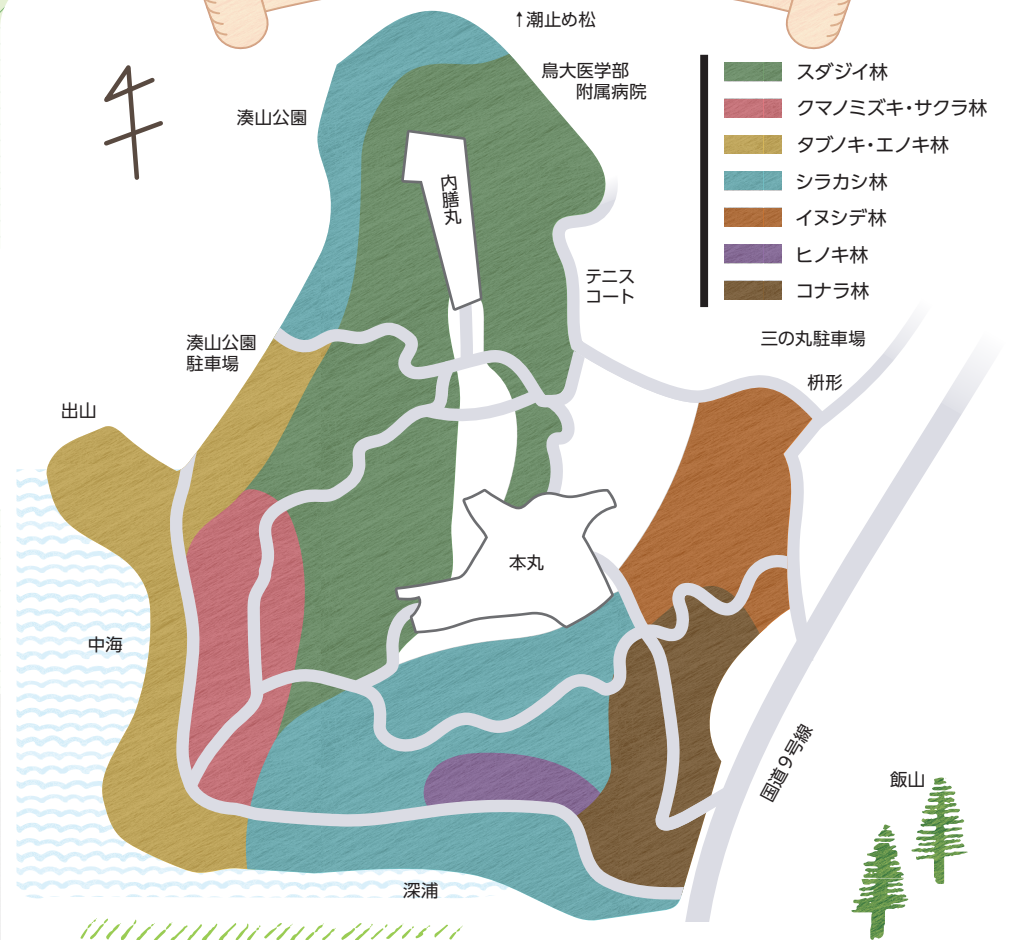


米子城跡の森は、米子市街地の中心に近いところにありながら、スダジイを中心とする自然度の高い森です。

これだけの森が残っていることは、永年にわたる市民の理解のもとに保存されてきた極めて価値の高い文化財であり、米子城跡は全国に誇れる「最強の城」といえるでしょう。

四季折々咲かせる美しい植物を楽しみましょう。

史跡 米子城跡の植生図



標高90.1mの湊山はスダジイを中心とする照葉樹林が発達しています。変化の多い地形のためタブノキ、シラカシ、イヌシデ、コナラなど多様な林が見られます。

林内にはカゴノキ、フユザンショウ、アリドオシ、キチジョウソウ、キンランなど貴重な植物が自生しています。また、シダ植物も多く、ミドリヒメワラビ、シロヤマシダ、ハカタシダなど珍しいものも見られます。近くの湊山公園の入り口には、米子城築城時に植えられたといわれる潮止め松があり、米子市の天然記念物に指定されています。

編集：米子城山の植物を愛する仲間 監修：鷲見寛幸(鳥取県自然観察指導員)

発行：米子市経済部 文化観光局 文化振興課 令和5年3月発行

絶滅危惧植物と珍しい植物

キンラン

5月

鳥取県の絶滅危惧植物に指定。花の色からその名がつけました。



ウラシマソウ

4月

鳥取県の準絶滅危惧植物に指定。花から糸状に垂れる様子を浦島太郎の釣り糸になぞらえ、その名がつけました。



フユザンショウ

9月

鳥取県の準絶滅危惧植物に指定。葉が冬も枯れないで残っていることからその名がつけました。



キチジョウソウ

10月

吉事があると開花するといわれています。



カゴノキ

樹皮が鹿の子模様になることから、その名がつけました。



シュウメイギク

10月

中国から古い時代に入ってきた帰化植物。



カラタチバナ

10月

秋から冬にかけて赤い実をつけ、百両ともよばれます。



カザグルマ

5月

園芸種テッセンの仲間、花の様子からその名がつけました。



セリバオウレン

3月

細かく裂けている葉がセリの葉に似ています。胃腸などに効く薬草として、昔から用いられてきました。



アリドオシ

茎に付く鋭い針が、アリの刺し通すほどだという意味でこの名がつけました。



殿様のお供でお国替

タンポポ物語

Dandelion Story



米子城跡で見られるタンポポは、セイヨウタンポポ、シロバナタンポポ、トウカイトンポポですが、その中でも日本在来種のトウカイトンポポは鳥取県内では米子城跡にしかありません。その理由は米子城の歴史にあると考えられます。

慶長15年(1610)、幕府の命により加藤貞泰公^{かとうさだやす}が岐阜県の黒野城より米子城主となりました。その時に関東から中部地方に生育するトウカイトンポポが持ち込まれた可能性があるのです。

加藤貞泰公はその後、愛媛県の大洲城へと国替えになりましたが、やはり大洲城にも四国には珍しいトウカイトンポポが自生しています。このように加藤貞泰公の国替えの足取りとトウカイトンポポの分布が一致しているのは、関連がありそうですね。また、大洲市には「だんだん」や「がいな」などの米子弁が残っているそうです。



タンポポの在来種と外来種の見分け方

日本在来種のトウカイトンポポとシロバナタンポポは花の付け根にある総苞外片^{そうぼうがいへん}が上向きですが、外来種のセイヨウタンポポは総苞外片が外側に反り返ります。



トウカイトンポポ (在来種)



セイヨウタンポポ (外来種)



シロバナタンポポ (在来種)



1 アオモジ (3月)



2 アキノノゲシ (9月)



3 アオキ (3月)



4 イヌホオズキ (8月)



5 イヌビワ (9月)



6 ウバユリ (7月)



7 ウメガシマテンナンショウ (4月)



8 オニユリ (7月)



米子城跡の植物

深浦

国道9号線

米子駅



24 ノグルミ (10月)



32 ヤブラン (8月)



25 ノコンギク (8月)



33 ヤブツバキ (3月)



26 ハンショウヅル (5月)



34 ヤマジノホトトギス (8月)



27 ビナンカズラ (10月)



35 ユキノシタ (6月)



28 ヒメジョオン (7月)



36 ヨシノアザミ (8月)



9 カラスビシャク (5月)



12 キンミズヒキ (8月)



15 シャガ (6月)



18 タチツボスミレ (4月)



21 トウカイトンポポ (4月)



29 フユイチゴ (12月)



37 ミズヒキ (9月)



10 ガンクビソウ (9月)



13 クサギ (8月)



16 シロバナタンポポ (4月)



19 ツワブキ (10月)



22 ナガバモミジイチゴ (4月)



30 ミゾソバ (8月)



38 ヤマザクラ (4月)



11 キリ (5月)



14 ジュウガツザクラ(十月桜)(10月)



17 センニンソウ (8月)



20 テイカカズラ (6月)



23 ベニバナボロギク (10月)



31 ムベ (5月)



39 ヤマネコノメソウ (4月)